



佐藤 稔 議員

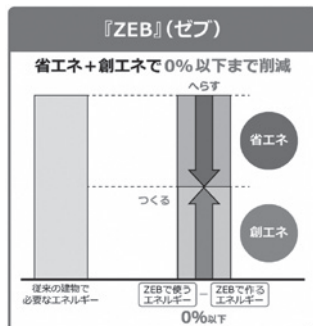


「ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）化」の促進について

問 カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みを考えた時、公共施設の整備事業は、建築物の消費するエネルギー量を削減する「省エネ」と、太陽光等の自然エネルギーを創り出す「創エネ」を組み合わせるZEB化が求められるが市の考えを伺う。

答（市長） 行政は、カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素化事業に積極的に取り組む必要が

ある。また、企業も設備等に省エネ化が求められる。市におけるゼロカーボンシティ宣言の達成に向け、市民と事業者、行政が一体となり、その実現を目指すことが重要だと認識している。



ゼロ・エネルギー・ビル[ZEB]の考え方（環境省ホームページより）

答（教育部長） 学校施設は、体育館照明のLED化を進めている。今後は、施設の長寿命化改良事業等の実施の際に、ZEB化について検討する予定である。

「障がい者手帳アプリ」の導入について

問 紙の障がい者手帳は、長期間使用していると文字や写真が擦り切れたり、水に濡れてにじんでしまうなどの問題点があった。この手帳をスマートフォンのアプリとして活用できる、「ミライロID」の導入を提案するが市の考えを伺う。

答（福祉部長） 手帳の課題からも有用であると考え。障がいがある方の生活の利便性向上につながるため、手帳をお持ちの方や施設関係機関に周知を図り、アプリの活用を推進していく。

＜その他の質問＞

・動物愛護の推進について



小山 高正 議員



健康推進について

問 ①家庭内受動喫煙の実態は把握しているか。ニコチン測定キットの利用で、家庭内啓発をする考え方についての所見。②駅周辺の路上喫煙やごみのポイ捨てについて、現条例の運用しやすい形への改正を求める。

答（健康推進部長） ①平成30年度、小学5年生に対し調査をした。測定キットは検討したい。

答（市民部長） ②路上喫煙等の

※虞犯少年・少女…環境・性格などの面から、将来的に法を犯すおそれがあると見なされる少年・少女

防止は、市民の意識高揚が大切と考えており啓発に努めたい。

教育について

問 ①令和3年9月の教育長答弁にあった出席扱い（ネットスクール利用）にする7要件はクリアできるようになったのか。対面指導の準備は整ったのか。②スクールソーシャルワーカーの活動成果について③いじめ、校内暴力、^{くはん}虞犯少年・少女^(※)への対応について伺う。

答（教育長） ③いじめ問題は早期発見、対応をしている。暴力行為や虞犯少年等は、どのように接するかが重要と考える。

答（教育部長） ①要件はその都度確認が必要で、対面指導は準

備できている。②家庭訪問等で生活力が向上し、少しずつ登校できるようになった事例がある。



市民生活について

問 ①管内の橋で維持管理等に關する通報や相談は年間どれくらいか。②管理者不明橋の調査の有無と管理橋数を伺う。

答（都市建設部長） ①令和3年度2件、令和2年度2件。②調査実績はなく、道路パトロールで管理者不明橋はないと考えている。管理橋は231橋である。